



学校給食を無償に



「学校給食を無償に」と訴える重国たけし
狛江市議予定候補

給食無償化が焦点に

学校給食無償化は全国で250を超える自治体で実施され、狛江でも熱い焦点になってきました。年末の都内共産党議員団による文部科学省交渉では「給食だけが唯一の栄養源となっている子どもたちが増えている」「僕は給食費を払ってないから、食べるわけにいかない」とがまんする子どもがいる」など切実な実態が出されました。

葛飾・北区では無料

葛飾区や北区では4月

う提案しても「狛江市独

から小中学校の給食費が無償化されます。世田谷区でも実施に向けて議論が進められています。1

2月の議会でも、港・墨田・豊島区、町田・清瀬市で学校給食無償化の請願が採択されています。

狛江市は実施も都や国への支援要請も拒否

一方狛江市は、無償化実施を求めた議会での質問に対して「慎重に考え判断していく」と実施に前向きな姿勢を示さず、

自で国や都へ要望する考えはない」とし、その理由を「優先ではない」と拒否しています。

物価高騰対策として、賃上げ、消費税減税

とともに給食無償化を

私は「物価高騰が止まらないもと、暮らしを支えることこそ政治の責任です。賃上げ、消費税減税とインボイス中止、そして狛江市では学校給食費無償化が必要です」と訴えています。

通学中の小学生も注目

この訴えを聞き、「よろしく願います」と声をかけていかれる方もおられますし、小学生からも注目されています。

予算の0・8%で可能

給食費無償化は、子育て応援とともに、地域経済の立て直しにも有効です。市の予算（約300億円）の0・8%、2億4250万円で無償化できます。21年度は決算

の黒字が23億円ありました。工面できないお金ではないと思います。

国会でも都議会でも一貫して要求

日本共産党は国会でも都議も要求を続けています。給食無償化を求める署名を積み上げ、暮らしを支える施策の実現を迫っていきたく思います。ぜひ署名にご協力ください。



重国たけし何でも相談

【連絡先】 ☎090-1775-9052
mail: sigeny@nifty.com

岩戸北1-10-6甲武ビル1階 日本共産党
狛江市委員会へお気軽にご連絡ください。
署名のご連絡もこちらにおよせください。



東野川
地域の

小田急バスのダイヤ変更で、買い物・通院が困難に

人権・福祉の保障、まちづくりの 土台として地域公共交通整備を

**全会一致（委員会）で対策の
検討を求める陳情が採択**

1月27日に傍聴した狛江市議
会建設環境委員会で「買い物や
通院が困難になっている交通弱
者への対応策の検討を求める陳
情」が全会派一致で採択されま
した。私も住んでいるマンショ
ン（ハイタウン）から喜多見駅
を往復するバス路線が減便され、
午前9時過ぎから12時過ぎまで
バス便がなくなっていることな
どに対し対策を求めるもので、
陳情がハイタウン居住者から提
出されていました。

地元のまちづくり協議会によ
り、グリーン・スロー・モビリ
ティの試行運転などもなされま
したが、高齢者等にとって地域
公共交通対策が切実な課題となっ
ています。委員会では、日本共
産党の鈴木えつお議員と無所属
の平井里美議員から、対策の実
施を求める立場で質疑及び討論
が行われました。

人権としての交通権保障を

経営上の理由としてバスの便
数が減っていますが、「乗客が
増えれば増便する」という対応

が基本では問題は解決しません。
地域公共交通を、①人間社会を
支える基本的な人権を保障するも
の、②文化を育むもの、③持続
可能地域社会の条件、④まちづ
くりの土台、⑤福祉・経済など
の社会的便益をもたらすもの、
といった観点でとらえ、公的に
支援していくことが求められま
す（『議会と自治体』22年11月

号、可児紀夫氏の連載「交通ま
ちづくりへの展望」から）。

私も皆さんと一緒に、小田急
バスや狛江市に具体的な対応策



を求めて
います。
ご要望な
どもぜひ
お寄せく
ださい。

【陳情項目】

「小田急バスのダイヤ変更によって、買い物や通院が困難になっ
ている交通弱者への対応策の検討を求める陳情」

【陳情の趣旨】

小田急バスの突然のダイヤ変更により、東野川地域では、午
前中3時間バスの運行のない時間帯ができました。その結果、
住民は通院や買い物など、外出時の交通手段がなくなり、非常
に困った状態に追い込まれています。

外出ができなくなったことによる高齢者の身体機能や認知機
能の衰えは深刻です。また、交通機関が保障されているから運
転免許を返納したという高齢者も多く、通院や買い物、家族へ
の介護が困難になっている状況があります。

小田急バスに対して改善を申し入れましたが、一向に改善さ
れません。市役所にも確認をしましたが、市としても再三にわ
たり小田急バスに申し入れをしているとのことです。

東野川地域はこまバス運行からも取り残されていますので、
ぜひこの不公平の改善を願います。買い物や通院が困難になっ
ている交通弱者の問題を、狛江の問題として考えてください。
具体的かつ積極的な対応策を検討し、実行して頂くことを求め
ます。



【発行】**重国たけし**

日本共産党狛江市議予定候補、党
狛江市環境・まちづくり推進室長

【連絡先】 ☎ 090-1775-9052

mail : sigeny@nifty.com

気候危機打開は未来への責任

住宅・公共施設省エネ、ソーラーシェアリング推進、原発ゼロを=都・環境局へ要請



要請書提出、発言する重国たけし市議予定候補

1月24日の共産党議員・候補者による東京都交渉に参加しました。出席したのは環境局・都市整備局との交渉でテーマは気候変動対策。

東京都への要請項目は、

- ・ 政府に**温室効果ガス削減目標を引き上げる**よう求める
- ・ 太陽光パネル設置義務化への都民と中小企業に向けた支援制度
- ・ 自治体のCO2削減目標計画立案を都として支援する
- ・ **学校や公共施設等の省エネ支援**
- ・ CO2大量排出をもとなう**大規模開発や多数の樹木伐採、大規模道路建設などを見直す**
- ・ 政府に**原発ゼロ**を求めるなどです。

私も発言し、2030年温室効果



陳情は、自民・公明議員と無所属の吉野芳子議員、三宅眞議員の反対で否決されました。その後、都内の市民団体からの陳請

果ガス62%削減、貴重な農地を生かしながら環境教育としても有効な生産緑地でのソーラーシェアリングを可能とすること、狛江の市民センター改修のような公共施設改修で省エネ化が進むよう支援を強めること、大規模開発によるCO2発生量「見える化」のしくみを整えることなどを求めました。

狛江市で、ごみ半減推進、気候危機非常事態宣言にとりくむ

これまで私は、狛江市の「ごみ半減推進審議会」の委員として、市民参加でのごみの徹底した発生抑制、プラスチックの削減・資源化などにとりくんできました。

20年10月には、世界で広がる「気候危機非常事態宣言」を狛江市でも行なうよう五百人の市民の賛同者とともに市に求めるとりくみもおこないました。この議会



みなさんの、ご意見やご要望などお寄せください。

(提出者は中野区民)が議会で採択され、狛江市は21年4月、ゼロカーボンシティ宣言(2050年までにCO2排出実質ゼロ)を行ないました。今後具体的にどう進めるか、本気の取り組みかが問われます。あらゆる政策の前提に気候危機打開を位置づけること、住宅等の断熱化、市民センターの増改築にもなう省エネ化や再エネ導入も重要な焦点です。

福島事故忘れず原発ゼロへ

持続可能な社会への転換は待たなしです。岸田政権や大手電力会社は、福島原発事故・ふるさとを奪われた被災者の苦しみをなかつたかのように、利潤追求へ老朽原発再稼働、放射能汚染水海洋放出を強行しようとしています。こうした逆戻りを決して許さないために、全国の世界のみなさんと力を合わせ、狛江からも声を上げ取り組みを広げて行きたいと思えます。



【発行】重国たけし
日本共産党狛江市議予定候補、党
狛江市環境・まちづくり推進室長
【連絡先】☎ 090-1775-9052
mail: sigeny@nifty.com

京王バス廃線問題特集

(ハイタウン一つつじヶ丘駅)



岡村しん市議とともに京王バス本社(府中市)にバス便廃止撤回を要請(2月27日)

京王バス路線(狛江ハイタウン折返場一つつじヶ丘駅南口「丘19」)の2月末での突然の路線廃止に驚かれた方も多かったと思います。
この路線廃止は、ハイタウンを含めた東野川3・4丁目および調布市民や世田谷区民(主にパークシティ成城)の一部および来訪者にも大きな影響を与えています。
告知からわずか一週間で、通勤、通院、買い物などの生活の「足」を失うことになった住民からは、困惑と怒りの声があがっています。



京王バス廃止影響について緊急調査(2月28日、ハイタウン東バス停)

バス「全便」に乗車し緊急調査
ハイタウン住民でもある私は京王バス本社(府中市)に2月27日に路線廃止撤回を共産党狛江市議団とともに申し入れるとともに、その影響と問題点を把握するため、27日と28日にわけて始発からほぼすべてのバス便に乗車し、利用者状況および利用者の声を聞く緊急調査を行いました。ここでは、その結果について報告します。また同時に、バス路線が廃止されたもとの、**今後の対策も急がれます。**
調査結果を踏まえ、いくつかの可能性を提案したいと考えています。ご意見、ご要望をお寄せください。
路線廃止の「理由」について
路線廃止の理由について京王バスは公式に住民への説明はおこなっていません(3月5日時点)。他方で住民からの要請を受けて市が説明を求めたところ、27日に京王バスから概略、①コロナ前と比べて8割程度の乗客しか戻っておらず赤字路線の整理に踏み切らざるを得なかった、②運転手不足、③労働条件の改善の課題もあり、路線を廃止することとなった、との

京王バス(ハイタウン一つつじヶ丘駅)乗客数調査結果[簡略版]

出発時乗車人数	6:22	7:45	8:14	9:10	10:09	11:09	12:39	13:09	14:06	15:31	16:25	17:24	18:24	19:24	20:54	計
ハイタウン折返場	2	3	3	—	6	1	3	3	4	2	2	1	3	0	1	63
ハイタウン東	4	5	6	7	15	3	4	5	4	6	2	1	3	0	1	113
小足立橋	5	7	8	8	15	5	4	5	4	6	3	1	3	0	1	131
野川大橋	6	7	11	9	15	5	5	5	4	6	3	1	4	0	1	144
明照院前	6	11	12	13	15	7	4	5	4	6	3	1	4	0	1	158
つつじヶ丘駅南口(着)	10	22	20	21	21	8	6	10	8	3	7	1	4	0	1	222
つつじヶ丘駅南口	4	7	3	3	2	8	2	4	1	7	9	9	14	12	3	156
明照院前	1	4	2	2	1	5	2	4	1	6	6	6	6	3	3	97
野川大橋	1	2	1	1	1	—	2	4	1	6	6	6	6	2	3	83
小足立橋	1	2	1	1	1	—	1	2	1	4	2	5	4	2	2	62
ハイタウン東	1	2	1	0	1	—	1	2	1	3	1	4	1	2	0	47
ハイタウン折返場(着)	1	2	1	0	1	—	0	2	1	3	1	4	1	2	0	46

(23年3月1日 重国たけし)

説明があったそうです(狛江市道
路交通課への聞き取り)。
路線廃止の影響
私は、路線廃止の影響について京王バスやから説明がなされる様子がないことから、緊急に独自の現地調査を行いました(別表に乗降者数集計)。その結果、以下の点があきらかになりました。
(裏面につづく)

力を合わせ暮らしの足を守りましょう

現地調査で明らかになったこと

●影響が大きいのは、つつじヶ丘駅を経由する他の路線がない「狛江ハイタウン折返場」「ハイタウン東」「小足立橋」「野川大橋」バス停の乗降利用者で、その数は一日当たりの総計(晴れの日)で100〜150人程度におよぶと推計され、雨の日は数倍になると予想される。

●路線廃止により、つつじヶ丘駅に行くには「明照院前」バス停まで歩く必要があるが、「ハイタウン折返場」から「明照院前」までは約750メートルあり時速4キロ弱で歩いて15分程度かかる。

●子どもをつつじヶ丘駅近くの保育所に連れていき出勤しているという方からは「明日からどうしようかと困っている」との声が聞かれた。買い物(オオゼキなど)や通院の「足」がなくなる高齢者や子ども連れのかたの困惑は大きい。

※新たにハイタウンを経由する「つつじヶ丘駅―調布駅」路線(丘14)が設けられたが、これまでの一日31回の発着がわずか2回になりというもので代替にはならない。

※調査結果詳細(数値、声)については、重国たけしのFBなどに掲載しています。お問い合わせいただければメール等でお送りします。

住民、狛江市などの動き

狛江ハイタウン(600戸、狛江市)、パークシティ成城(387戸、世田谷区)

では、マンション管理組合としてバス会社および行政機関への働きかけも行われています。「バス路線についての署名があるなら協力する」との声も聞かれます。狛江市は、ハイタウン管理組合などからの要請を受け、対応を検討しているそうです。(道路交通課への聞き取り)。

今後の対応について

当初共産党市議団は、住民利益を第一に考える立場から、超党派の取り組みにすることが大切だと考えています。この方向を追求しながら、バス会社や関係行政機関に働きかけていきたいと考えています。

また、交通不便地域の解消にむけ、バス会社や狛江市が参加する「住民説明会・懇談会」を設けることも必要だと考えています。今後の具体的な対応については地域住民のみなさんの要望に沿って検討していくこととなりますが、現段階で考えられることについて、以下「重国だけの私案」として整理してみました。

路線復活を求めることについて

廃止されたバス路線復活は有効な対策の一つですが、全く同じ形での運行を求めることはハードルが高いのではないかと考えます。「減便」での対応できなかったのかという疑問はあり、廃止の判断について説明を求めたいと考えます。

代替手段についての「私案」

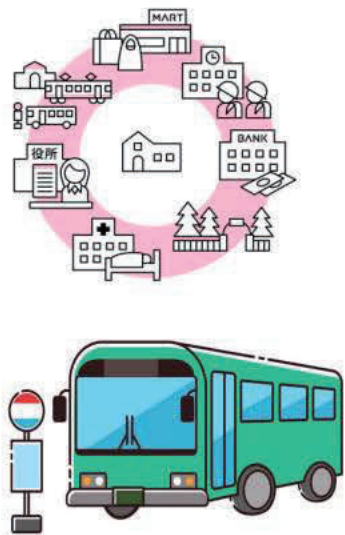
代替手段としては、以下などが検討対

象となるのではないのでしょうか。

- ①新設されたハイタウンを経由する「つつじヶ丘―調布」(丘14)路線を大幅に増便する(1時間に1本など)
- ②京王バスに限らず「明照院前」を通る路線バスについて「ハイタウン折返場」経由便を設ける
- ③こまバスの運行ルートに「ハイタウン折返場」経由のルートをつくる
- ④「ハイタウン折返場」から「覚東」や「明照院前」を往復するなんらかの公共交通機関(グリーン・スロー・モビリティなど)の整備を早急に行う

これらを、住民ニーズをふまえて具体化する必要があると考えます。そのためにもまず、バス会社および狛江市が「住民の足の確保」という要求に向き合う立場を明確に持つことが不可欠です。

重国たけしと日本共産党狛江市議団は、住民のみなさんとともに力を合わせて、暮らしの足の確保に引き続き全力で取り組みます。ご意見やご要望などお寄せください。





【発行】**重国たけし**
日本共産党狛江市議予定候補、
党狛江市環境・まちづくり推進室長
【連絡先】 ☎ 090-1775-9052
mail : sigeny@nifty.com

バス問題特集 (その2) 暮らしの足を守れ!

小田急・京王バス要請結果報告 (ハイタウン一ツツジヶ丘駅、喜多見駅)

前回、京王バス廃線問題の特集した「まちづくりニュースNo.4」には、多くの反響をいただき、ありがとうございました。

その後、私・重国たけしは、共産党市議団とともに、狛江市北部地域(狛江ハイタウン周辺、東野川3・4丁目など)のバスの改善(回復)のために、小田急バス本社(調布市、3月6日、岡村しん・鈴木悦夫市議、荒木てつ市議予定候補が参加)および京王バス本社(府中市、3月9日、宮坂良子市議、ハイタウン住民、共産党田村智子参院議員秘書が同席)を訪ね、要請を行いました。その内容と結果についてお知らせします。

●小田急バスへの要請

共産党狛江市議団は、小田急バス会社に対し、2020年11月の



小田急バスに要請・懇談(3月6日)

「ハイタウン一喜多見駅」の減便以降、繰り返し増便を要望してきました。今回、2月末で京王バス「ハイタウン一ツツジヶ丘駅」路線が廃止され、住民の移動がいつそう困難になったことを踏まえ、改めて増便と他ルートでの運行などについて要請しました。

小田急バスからは、バス事業本部計画部が対応。いずれの要望内容についても「検討します」とのお返事でした。また、いくつか実情を聞くことができました。

【要望1】「ハイタウン一喜多見駅」のバス便では「9時3分〜12時15分」および「14時15分〜16時35分」に大きな空白が生まれています。増便やダイヤ改正により空白時間を解消できないでしょうか。

分にご要望にこたえられるかどうかは現時点ではお約束することはできませんが、検討させていただきます。収支の面では、一般に平均20人の乗客で黒字になるとされています。現在はこの路線の乗客数は平均3〜5人程度で、他の路線の黒字で補っています。乗客数が増えたり、行政の支援があれば増便は可能です。一方で、乗務員(運転手)不足という問題は引き続きの課題です。

乗客数の増加が見込めれば増便は可能でしょうか。行政などから公共交通維持への支援があれば増便は可能なのでしょうか。

【要望2】「明照院前」を通過する成城学園前駅、つつじヶ丘駅、狛江駅、調布駅行きなど他のバス便の一部をハイタウン経由にルート変更できないでしょうか。

【回答1】利便性を高めるためのダイヤ改正等については検討したいと考えています。ただ、小型バスは保有台数が限られるため、+

【回答2】乗務員確保や、既存バスダイヤとの関係などさまざまにハードルが高いのですが、ご要望については検討します。

【回答3】狛江市からの要望にもとづいて対応します。

【要望3】利用者の利便性向上の視点から、狛江市からの委託を受けて運行している「こまバス」の運行ルートやダイヤの改正をお願いいたします。

(裏面につづく)

力を合わせ暮らしの足を守りましょう

●京王バスへの要請

「つつじヶ丘駅ーハイタウン」路線が2月末で廃止されたことを踏まえ、共産党田村智子参院議員事務所の協力を得て、要請・懇談を行いました。京王バス株式会社からは運輸営業部乗合事業担当の代表が対応してくださいました。

最初に、今回、暮らしに密着したバス路線が、何ら代替措置のないままに突如廃止されたことにより、利用者・付近の居住者に大変大きな混乱が生じたこと。このようなやりかたは、地域の公共交通を担うバス会社の対応として疑問を感じざるを得ないことを率直にお伝えしました。これに対して、「お知らせが直前になり、大変なご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした」と謝罪がありました。

また、私が緊急調査した利用者の声を紹介(資料提出)、ハイタウン住民の金

紹介(資料提出)、ハイタウン住民の金



京王バスに要請・懇談(3月9日)

子守一さん(92歳)から、睡眠時無呼吸症の治療のためにこのバスを利用しており、600メートル近くある明照院バス停まで歩いていくことは大変困難であることなども話されました。そして京王バスに対し、住民の暮らしを支える立場での対応を求めました。以下、要請内容及び回答の概略についてお知らせします。

【要望1】「つつじヶ丘駅ーハイタウン」路線が突如廃止された件について、住民に対する説明会を狛江市とともに開催し、「足」の確保についての住民の要望を聞く機会を設けてください。

【回答1】狛江市が地域住民のみなさんの要望を聞く機会を設けていただければ、そこに参加し説明することはできると考えています。

【要望2】路線の復活および代替手段を検討してください。例えば、①ハイタウンを経由する「つつじヶ丘駅ー調布駅」路線を大幅に増便する。②他路線の「明照院前」通過便について「ハイタウン」経由便を設けるなど。赤字路線、人員不足、労働条件改善が理由と聞いていますが、公的な支援を含めて収支の改善が見込めれば、路線復活や代替措置はできるのでしょうか。

【回答2】バス便を復活させたり、ハイタウン折返場経由のバス便を増やしたりすることについては、路線廃止決定にあ

たり、減便での路線維持を含めてギリギリまで様々に検討しましたが、その結果として今回のようなかたちとなりました。地域の公共交通を担うバス会社としては、できるだけ路線を維持したいと考えていますが、コロナ前と比べて8割程度の乗客しか今後も見込めないというもつで、赤字路線の見直しに踏み切らざるを得ませんでした。もちろん、公的な支援などがあればありがたいことですし、収支の改善が見込めればご要望に対応できる範囲が広がると考えられます。経便を増やすなどの対応は人員の確保など他の問題もあり、現時点では難しいと言わざるを得ません。

【要望3】住民の「足」を確保するための狛江市からの要請に真摯に対応してください。

【回答3】はい。真摯に対応させていただきます。狛江市さんが説明会や懇談会などを設けていただければ出席を検討させていただきます。

これらを受けて、狛江市へのあらためての要請を含め、引き続きみなさんと力を合わせ、暮らしの足の確保に全力で取り組みます。ご意見やご要望などお寄せください。





すべてのこどもを 対象に学校給食 無償化を



**都内では12自治体
が完全実施**

学校給食の無償化は、
全国で250を超える
自治体で実施され、東
京都内でもお隣の世田
谷区など、大きく広がっ
てきています。4月1
日現在で、完全実施が
7区1町4村の12自治
体、部分実施が2区1
市の3自治体、実施表
明および検討中が5区
です（表参照）。

給食費は年間、小学
生で約5万円、中学生
で6万円かかっており、
無償化されれば大きな子
育て支援になります。

憲法の通りに学校給食 の無償化を

学校給食は「食育」と
して教育の一環（学校給
食法）であり、憲法には
「義務教育は無償」と明
記されています（第26条）
です。給食無償化は
憲法通りの実施を求める

都内の学校給食無償化実施・検討自治体一覧

（4月1日現在）

小中学生 全員無償化	部分実施	実施表明	検討中	
品川区	練馬区 (第2子以降、上 の子の年齢制限 なし)	江東区 (実施表明)	中野区	
世田谷区			豊島区	
荒川区		足立区 (中学生)	杉並区 (今後の導入を 検討)	江戸川区
中央区				
台東区	狛江市 (第3子以降、3 子とも小中学生 の場合が対象)			
葛飾区				
北区				
奥多摩町				
桧原村				
三宅村				
利島村				
御蔵島村				



というものにほかなりま
せん。

日本共産党は1951 年から一貫して要求

この間、日本共産党は、
狛江市議会でも、また都議
会でも国会でも繰り返し
議会で給食無償化を求め
てきました。実は、国会
では、すでに70年以上前
の1951年にとりあげ

ています。日本共産党の
岩間正男参院議員が義務
教育無償を定めた憲法26
条にもとづき「義務教育
の無償をどの程度まで果
たすべきと考えているの
か」とただし、政府から
「現在は（無料は）授業
料だが、教科書、学用品、
学校給食費、交通費など
を考えている」との答弁
を引き出していました。

給食無償化すすめる議会に変えよう

義務教育でも年間15万円の学校関係費用
 現在、義務教育でも多くのお金がかかっており、東野川のYさんの場合では、給食費や制服、体操着など合計で15万円にもなりました(表)。負担軽減は切実な願いです。

制服関係	上着、スラックス、ネクタイ、Yシャツ、ポロシャツなど	約7.3万円
体育用品	半開シャツ、Tシャツ、ストレートパンツ、ハーフパンツ、体育館履き	約2.1万円
給食費	月額4,768円 (※市HPから、8月を除く11か月として計算)	約5.2万円
総計		約15万円

※そのほかに、通学用リュックや教材費が数万円かかる

狛江市でも第3子以降無償化が実現

狛江市では、給食無償化を求める市民の声が大きく高まるもと、これまでは「優先順位でない(高くない)」「(議会での日本共産党議員への市当局答弁)として拒否してきた学校給食無償化について、第3子以降の給食費無償化を23年度予算に盛り込み、4月から実施されています。

多摩地域の市で実施したのは狛江市が初めてです。これは、市民と日本共産党が市政を動かして実現させた貴重な成果です。

対象は全体の約3% (140世帯)

しかし、狛江市の第3子以降の給食無償化の部分実施は、対象が140世帯(全体の約3%)にとどまっています。これではまだまだ不十分です。

財源はある

給食費無償化は、子育て応援とともに、地域経済の立て直しにも有効です。市の予算(約300億円)の0.8%、2億4250万円で無償化できます。21年度は決算の黒字が23億円あり、市の貯金(基金)は65億円になる見込みです。財源はあります。あとは市長が決断するのみです。

議会での陳情を自民党・公明党が否決

一方、狛江市の3月議会では、多くのみなさんから寄せていただいた学校給食の無償化を求める署名(市長あて)を背景に、狛江社会保障推進協議会(署名呼びかけ団体)から給食無償化を求める陳情が出されました。この陳情は、国や都

重国たけしは給食無償化を特別重視

にはたらきかけて財政支援を求めることをふくめて、給食無償化を求めるものでしたが、自民党、公明党、三宅議員、吉野議員、辻村議員の反対で否決されてしまいました。

重国たけしは給食無償化を特別重視

重国たけしは、年明け以降、ほぼ毎週の朝、月・木は狛江駅で、火・金は喜多見駅頭で学校給食無償化をのぼりやタスキをかけて署名のご協力を呼び掛けてきました。駅頭や市内各地の辻々での政策宣伝でも、学校給食無償化を重視して訴えてきました(写真)。

今度の市議選では、給食無償化を求める議員を議会に増やし、議会の力関係を変えられるかどうか大きく問われています。日本共産党の5議席を回復することが欠かせません。

意見やご要望などお寄せください。





京王バス路線廃止、小田急バス減便問題

狛江市 (道路交通課) に対応を要請

東野川地域のバス問題（京王バスの「ハイタウン折返場」つつじヶ丘駅南口」路線廃止、小田急バス「ハイタウン折返場」喜多見駅「減便」の改善を求めて、狛江市の道路交通課（課長が対応）に要望をおこなってきました（写真）。

この間、重国たけしが京王バス・小田急バスの各本社を訪れて要請し、バス会社からも、「狛江市が主催して市民（利用者）の声を聞く場が設けられるなら出席を検討する」などと回答を得ていることも伝え（詳しくは「重国たけしまちづくり



ニュース」No.5参照）重国たけしのHPに掲載）、市主催の懇談会を開催してもらおうよう求めました。

以下、要請内容のポイントを紹介いたします。

狛江市道路交通課 様

日本共産党狛江市

環境まちづくり

推進室長 重国たけし

(4月7日)

東野川地域では、京王バスの路線廃止、小田急バスの減便により、住民の「暮らしの足」に大きな困難がもたらされています。狛江市として、改善に向けての取り組みをお願いいたします。

廃止等について、狛江市としてバス会社に参加を求め、住民の要望を聞く懇談の場を設けてください。

先日、日本共産党市議会としてバス会社に対して「『住民の足』を確保するための狛江市からの要請に真摯に対応していただくこと」を要望したところ、「真摯に対応させていただきます。狛江市さんが説明会や懇談会などを設けていただければ出席を検討させていただきます」と返事もありません。市・バス会社・住民の懇談会の実現をお願いいたします。

2、東野川地域等の住民の「暮らしの足」回復の実現へのご尽力をお願いいたします。

京王バス、小田急バスに対して、「つつじヶ丘駅―調布駅」便や「覚東―または「明照院前」を通過するバス便について

「ハイタウン折返場」經由便を一時間に一本程度設けること、「狛江ハイタウン―喜多見駅系統」（喜01）のバス便を増やすことなどが当面する現実的な対応の一つと考えます。

狛江市としても、「こまバス」のルートを「ハイタウン折返場」を経由するよう変更することや、グリーンスローモビリティなどの別の「足の確保」手段の実施を検討してください。

バス会社に対して財政的支援を行い、路線維持・回復を求めること東京都や国に対して、地域の足を守る手段（財政支援）の実施を求めることなどもご検討ください。など。

住民の「暮らしの足」の回復に向けて、狛江市の取り組みを重ねてお願いいたします。

以上

1、「つつじヶ丘駅南口―狛江ハイタウン折返場」バス路線の

「意見等およせください



【発行】**重国たけし**
日本共産党狛江市議予定候補、
党狛江市環境・まちづくり推進室長
【連絡先】 ☎ 090-1775-9052
mail : sigeny@nifty.com

有機フッ素化合物（PFAS）地下水汚染問題

狛江でも地下水から基準値越えの値を検出 急がれる実態解明



4月11日のNHK「クローズアップ現代」でも放送された地下水の有機フッ素化合物（PFAS）汚染の対策が急がれます。環境省の資料「PFASに対する総合戦略検討専門家会議（第2回）議事次第・配付資料―水・土壌・地盤・海洋環境の保全」によると、2021年度の調査結果では地下水43地点の基準超過のうち約半数は東京都内です。狛江でも、一

あたり410ナノグラムなどの暫定基準値の50ナノグラムを大きく超える高い値が検出されています（狛江市では3カ所の井戸から基準値越えを検出）。※狛江市の410名のナノグラムについては、「クローズアップ現代」番組中では報道されませんが、番組ホームページの資料には掲載されています。

この調査では、高いほうから、立川市（640ナノグラム）、調布市（460ナノグラム）、府中市（450ナノグラム）につづき、狛江市（410ナノグラム）は21年9月計測と、が示されています。高い値がでていることが気になります。

東京都に要請する重国たけし予定候補（2月3日）

されがま 検測 3年り ルリ ムノ で 泉
らよ、して 出さ 月1、 当ッ グラ 本
にりこたい さが 計、20 たト ーラ ナ 町

東京都は、水道水は基準値を大きく下回る値であることを確認していること、また、基準値を超える値の検出された井戸は取水停止の措置をとっているとしています。が、その原因については解明されていません。

（和泉本町）

重国たけしは、2月と3月に、日本共産党東京都議団の都庁交渉、党国会議員団の環境省交渉に参加し、実態解明と対策を求めてきました。また、4月5日には環境政策課に狛江市としても実態把握と市民への情報提供を積極的に行うよう求めました。公害問題・環境問題は重国たけしのライフワークでもあります。引き続き、取り組んでいきます。

（意見や情報等がありましたら、お寄せください。）



市民のいのちと暮らしを守り抜く

公約実現へ



頑張ります！ 引き続き、よろしくお願ひします



4月の市議会議員選挙でのご支援、本当にありがとうございました。今後は一市民として、引き続き、かかげた公約の実現に可能なやり方で取り組んでいきたくと決意しています。どうぞよろしくお願ひします。

主な公約と今後

① 学校給食費を全員無料に

区内では、新しく大田区で6月から無料化されることになりました(補正予算で約18億8600万円を計上)。

すでに完全無料化を実施しているのは、世田谷・品川・荒川・中央・台東・葛飾・北区や、奥多摩町、桜原村、三宅村、利島村、御蔵島村です。

粕江市でも第3子(140世帯)対象のみにと



どまらず、すべての小学生の無料化が必要です。議会では日本共産党粕江市議団(4人)が要求していくとともに、署名や請願活動にひきつづき取り組みます。

② 物価高騰への暮らし支援

国の補正予算の活用、市独自の上乗せで、生活支援のための給付金支給や電気・ガス代支援などを求めていきます(近日中に日本共産党粕江市議団として市に要望書を送付)。

5月16日の臨時市議会では、低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金(対象児童一人あたり5万円)や新たな不登校対策支援費が決定されました。市民が声をあげて実現した成果です。対象となる方は活用しましょう。

(裏面に続く)

バス路線回復・PFAS汚染・図書館移転問題

③バス路線の廃止・減便への回復策

京王バスの路線廃止（ハイタウン一ツツジヶ丘駅）、小田急バスの減便（ハイタウン一喜多見駅）による交通不便解消に向けて、調査活動やバス会社との交渉など、これまでの到達を踏まえ、皆さんの意見を聞きながら取り組んでいきます。ハイタウンや近隣のマンション、調布市の関係自治会や世田谷区のマンション住民のみならずとも協力して、地域ぐるみの署名運動に取り組めないかと検討中です。

④PFAS（有機フッ素化合物）地下水汚染対策

ハイタウンでも基準値の8倍を超える地下水汚染が明らかになっています。多摩地域の住民への影響では、血中濃度が高い（国分寺・国立・立川・府中・西東京・調布・小平市の303人の結果では全国平均の3・4倍）ことが明らかになりました。ハイタウン市民を対象にした血液検査の実施も検討されています。調査と対策が急がれます。ハイタウンでも市民団体を立ち上げて具体的なアクションをすすめることを検討しています。

⑤図書館分割・移転止め現在地で拡充

突如打ち出された図書館分割・移転計画が、市民合意のないままに強引に進められています。この問題は、市民センター（公民館・図書館）の利便性ととも、ハイタウンの民主主義のありかたが問われる問題です。

「ハイタウン市民センター改修基本設計およびハイタウン新図書館整備基本設計に係る市民説明会」が①6月1日（木曜日）午後7時、②6月3日（土曜日）午前10時、ハイタウン役所4階の特別会議室で開催されます（5月28日までに申し込みが必要）。

ぜひ、ご意見やご要望などお寄せください。暮らしのお困りごとなどについても、お気軽にお寄せください。



京王バス(左)、ハイタウン(右)に要請・懇談(3月)

まずは市民説明会でしっかりと市民の意見が出せるように、事前に資料配布がなされる必要があると考えます。市民が誇りに思える図書館・公民館の実現のため、みなさんの声を聞きながら引き続き取り組んでいきます。



■岸田政権の大軍拡・大増税をストップさせること、入管法改悪法や原発推進法、マイナンバー強制法などの悪法を廃案にすること、インボイス中止などにも取り組んでいきます。その他、気候危機打開対策の抜本強化や補聴器購入補助制度、松原市長の公私混同をたす取り組みなど、多くの公約についても、4人の日本共産党市議団と協力して取り組んでいきます。